

WEEKLY REPORT



Sabae Rotary Club

R I 第2650地区 2016-2017年度 鯖江ロータリークラブ



国際ロータリーのテーマ

RI第2650地区のスローガン

人類に奉仕する
ロータリー

夢を語り、現在を刷新
Review From the future and Renew



鯖江ロータリークラブ会長方針
老壮青 今、日々を大切に
「感謝で繋ぐ」その為に...
会長 田村 康夫

第2801回
5/12(金)

5月第1例会

点鐘:12:30

テーマ 「自動車の安全装備について」
関大橋モータース代表取締役
卓話 **大橋 良史 会員**

第2802回
5/19(金)

5月第2例会 点鐘:12:30

注意:会場は4階大ホールです

テーマ 「最近の金融情勢と福井の課題」
日本銀行福井事務所所長
卓話 **村上 憲司 様**

第2803回
5/26(金)

点鐘:12:30

テーマ 「越前打刃物について」
タケフナイフビレッジ(協) 理事長
卓話 **加茂 詞朗 様**

5/12(金)

第2801回
例会報告

4つのテスト

出席率87.1%

鯖江商工会議所3階中ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
国 歌 斉 唱
ロ - タ リ - ソ ン グ
好意と友情の握手タイム
会 長 の 時 間 等
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



「それでこそ
ロータリー」
**桑原 重之
副ソングリーダー**

好意と友情の握手タイム



結婚祝



桑原 重之 会員
清水 康弘 会員
吉田 俊博 会員
下村 義孝 会員
橋本 政宣 会員
牧野 友美 会員
瀧ヶ花 秀晃 会員
田中 敏幸 会員

堀江 邦夫 会員
窪田 健一 会員

ゲストの紹介と会長の時間



大島 恒彦 副会長

今日は大橋会員が「自動車の安全装備について」話されるので、被るかもしれないが話させていただく。Y新聞に止まるはずの車が止まらなく損害賠償を受けたという記事があった。それは、デモカーに家族全員が乗っていて、横に乗っていたディーラーが、「この車は安全装置がついているから、自動で止まるのでブレーキはかけないでください」と言ったらしい。そのまま壁にぶつかり、大怪我をしたので賠償請求されたという事だ。今の段階では、補助装置という事で考えていただいたらよいと思う。

T社のマークX(前身はマークII)や、SAIという車は製造中止になる。T社が売られたのは、エンジンをヤマハと提携して積んだ、ディーゼルはヤンマーのエンジンを積んだことが功を奏した。このニュースを聞いて、少し寂しい思いがする。

幹事報告



帰山 明朗 幹事

来週19日の例会は、会場の都合により例会場を4階大ホールに変更となる。

誕生祝



田村 康夫 会員
川上 勝義 会員
榊原 広輝 会員

お間違えないようお願いいたします。

鯖江RACより例会の案内が届いている。日時は5月26日(金)午後7時30分から、会場は鯖江市民活動交流センター、内容は「車イスに関する事」で、車イスに係る制度や助成金等々について、お話しされること。登録締め切りは5月19日(金)。ぜひ、ご参加宜しく願います。

本日の例会終了後は定例理事会を行うので、役員理事者の皆さまはご出席を宜しくお願いします。

委員会報告



清水 康弘 社会奉仕委員長

今年度の事業、「サバンのおやくそく体操」最終日のあすなる保育園でホンダ技研の取材を受け、記事になったので、鯖江市に送ってこられた。また、ロータリーの友今月号26Pにも、掲載されているので、ご覧いただきたい。

川手 博明 副幹事

ガバナー公式訪問は、7月14日と決まり、事前資料提出が1か月前という事なので、各委員長さんには、事業計画提出を5/30までをお願いしたい。尚、年度締め前の為、イレギュラーな事態が予想されるのでよろしく願う。



勤続表彰



堀江 邦夫 会員
吉田 俊博 会員

卓話 大橋 良史 会員

テーマ 「自動車の安全装備について」



卓話者紹介

孝久 治宏 プログラム委員長

今日は、(株)大橋モーターズ代表取締役 大橋良史会員による会員卓話。テーマは「自動車の安全装備について」。ひと(お客様と社員)を第一に考え、車を通じて社会に貢献することを旨としている。1977年創業で、7月に満40年を迎える。今更だが、各メーカーの新・中古車の販売、車検・整備を手掛け、各種保険を取り扱っているマツダの正規ディーラー。



(株)大橋モーターズ代表取締役

大橋 良史 会員

日本における自動車の安全装備の歴史

1960年 タカタが日本初の2点式シートベルトを製造販売。

1963年 小堀氏がエアバッグを発明。

1971年 日産のプレジデントに日本初のABSが装備。

1987年 ホンダ プレリウドに日本初のエアバッグが装備。

2004年 ホンダがナイトビジョンを開発。

2010年 スバルがアイサイトプリクラッシュセーフティシステムを開発。

パッシブセーフティ

クルマの安全性は、わかりやすい「パッシブセーフティ」から普及が進んだ。乗員の安全の基本は「3点式シートベルト」で、58年前にボルボによって発明され、世界中の自動車に採用されている。その発明によって100万人以上の人の命を救ったとされている。50年を経過した今でもこれを上回る発明はなされていないようだ。また最近のパッシブセーフティの代表的な装備は「SRSエアバッグ」で、最近では事故の状況に応じて2段階に展開するタイプなど、機能も進化している。

衝突安全ボディ

クルマの前後の部分をつぶれやすくして衝突時のショックを吸収。逆に、乗員が乗る居住部分は骨格を頑丈にして、万一のときに生存空間が確保できるように設計されたボディ。

アクティブセーフティ

事故を未然に防ぐ安全性能。これは、非常に広い範囲を示す言葉で、視界のよさやボディの見切りのよさ、扱いやすさといった抽象的なものまで、その範囲に含まれることもある。

ABS

電子制御でブレーキを断続的に働かせることで車輪のロックを防ぎ、緊急制動時にクルマの挙動を安定させる技術。ごく一部の軽自動車を除くとすでにすべてのクルマに標準で装備されており、アクティブセーフティの基本ともいえる装備となった。電子制御でブレーキ力の前後配分をコントロールする「EBD」や、緊急ブレーキと判断したときには踏力に対してブレーキ力を高める「ブレーキアシスト」なども組み合わせられることが多い。

トラクションコントロール

滑りやすい路面での発進時にアクセルを踏みすぎたとき、タイヤの空転を判断するとエンジンの出力を抑えてスリップを防止する仕組み。横滑り防止装置と組み合わせ採用が多い。

横滑り防止装置(エレクトロニックスタビリティコントロール)

現在、普及の途上にあるのが、この「横滑り防止装置」。カーブを曲がるときにクルマの走行ラインがふくらんだり、あるいは巻き込んだりするのを防いで、安定した走行を確保する装置。メーカーによってESC、ESP、VSC、VDCなど多数の呼び方があるが、「ESC」という名称に統一しようという声が出ている。

アダプティブクルーズコントロール

アクセルを踏まなくても一定の車速を維持して走るクルーズコントロールに、車間距離制御機能を追加したもの。プリクラッシュセーフティシステムに組み合わせられる。

レーンキーピングアシスト(車線逸脱警報)

道路に書かれた車線を示す白線をカメラなどで判断し、それを踏み

越えそうになると警告音やステアリングへの振動などでドライバーに知らせるもの。「車線逸脱防止機構」として、クルマを車線内に戻す形でステアリングを働かせるものもある。*レーンデパーチャーワーニングシステム(LDWS)

AFS(アダプティブ・フロントライティング・システム)

ハンドルを操作したとき、操舵の方向に向けてヘッドライトが照らす向きを変えるシステム。暗い夜道での視界を確保する。ナイトビジョンや先進ヘッドライト対車両死亡事故の70%が夜間に発生。「プリクラッシュセーフティシステム」とは、衝突が避けられない状況になった場合に、被害を最小限に抑えるための技術で、ちょうどアクティブセーフティとパッシブセーフティの中間に位置するような安全技術だ。具体的には、走行するクルマの前方を監視して、衝突が避けられないと判断したときにブレーキ操作をうながし、さらに状況に応じてブレーキを働かせたり、シートベルトのゆるみを巻き上げたりして衝突に備えたりする。車間距離制御装置などと組み合わせ採用されることが多く、一定の条件下ではクルマを完全に停止させて安全を確保する仕組みも登場するなど、まさに最先端の安全技術と言っている。

セーフティ・サポートカーS

国土交通省と経済産業省は4月4日、関係省庁の副大臣らが検討した高齢運転者の事故防止対策について、中間取りまとめを公表した。自動ブレーキの新車乗用車搭載率を2020年までに9割以上とする目標を設定。自動車メーカーは20年までにほぼ全ての新車(乗用車)に自動ブレーキとペダル踏み間違い時加速抑制装置を標準装備またはオプション設定する、といった方針も盛り込んだ。

先進的な安全技術を搭載した「安全運転サポート車」の愛称は、全ての運転者向けに「セーフティ・サポートカー(サポカー)」と命名。このうち高齢運転者向けは「セーフティ・サポートカーS(サポカーS)」と名付けた。

サポカーSは、機能に応じて3区分に設定。ユーザーがどの車両にどんな安全性能が備わっているか、分かるようにした。

具体的には、自動ブレーキ(対歩行者)とペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを備えた車両を「ワイド」と定義。自動ブレーキ(対車両)とペダル踏み間違い時加速抑制装置の搭載車両は「ベーシック+」、低速自動ブレーキ(対車両)とペダル踏み間違い時加速抑制装置を搭載した車両は「ベーシック」とした。今後は官民あげてこれらの車両の普及に取り組む。

マツダの安全技術の紹介

2016年度の予防安全アセスメントの評価でマツダアクセラが最高ポイントの評価を得た。当社が主取り扱いの車なので、大変うれしく思う。ドライバーに身近に起きる事故を未然に防ぐ技術が近年中に全車種投入予定。

まとめ

自動車の予防安全の技術の進化で確実に大きな被害の交通事故は減っている。これからご購入される場合の選択肢のひとつとして、安全装備のしっかりとしたお車をお勧めする。交通事故のない社会の実現をお祈りする。

にこにこBOX報告

1 帰山 明朗 会員 136	榎原 広輝 会員 14	窪田 健一 会員
2 大橋 良史 会員 145	吉田 俊博 会員 4	清水 康弘 会員
1 小部 隆充 会員 45	堀江 邦旺 会員 4	桑原 重之 会員
1 岡本 圭子 会員 4	橋本 政宣 会員 6	深見 泰和 会員
1 瀧谷 えみ子 会員 14	瀧ヶ花 秀晃 会員	
3 川上 勝義 会員 14	牧野 友美 会員	

1.大橋会員の卓話に期待して

2.卓話させていただきます。よろしく願います

3.誕生祝をいただいて

4.結婚祝いをいただいて

5.勤続表彰をいただいて

6.欠席が続きました

小計 ¥ 38,000

累計 ¥ 1,016,000